

1 市の概要

人口	1,058,517人
保護率	1.65%

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当 (件) 一月当たり	28.5
プラン作成件数人口10万人当 (件) 一月当たり	14.8
就労支援対象者数人口10万人当 (件) 一月当たり	4.5
就労・増収率(%)	43.5

4 事業実績（H30年度）

登録者	就労決定者	うち期間内の決定者	うち利用期間後の就労支援での決定者
83人	40人	36人	4人

※協力事業所数50か所（平成31年3月末現在）
（民間企業39ヶ所、社会福祉法人8ヶ所、NPO法人3ヶ所）

3 実施方法について

実施方法	委託（自立相談及び就労訓練推進も同一法人に委託）
事業費	26,152千円（平成30年度）
理由（委託）	<ul style="list-style-type: none"> 被災者を対象とした支援を通じて、民間団体がノウハウを蓄積していた。 従事する職員の専門性・継続性が求められることから、NPO等の既存資源を有効に活用することとした。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内1か所に拠点を設置し（市中心部。自立相談支援機関からは徒歩圏内）、通所型で実施。 就労準備支援に配置した3名は主に利用者の支援を担当。内職・軽作業の受注や連絡といった企業とのやり取りは主に自立相談の就労支援担当が兼ねている。 一日の流れ <ul style="list-style-type: none"> 9:15 集合・バイタルチェック 9:30 朝のミーティング（利用者の司会で、全員が今日の体調・一日の目標などを発表） 10:00 午前のプログラム 12:00 昼休み 13:00 午後のプログラム 15:00 振り返りミーティング（気分や体調の変化を振り返り、それぞれが発表する）

5 事業実施のポイント ～個別プログラムと「通える場所」～

利用者の状況に合わせて組むプログラム

利用者ごとのプログラムは、下記プログラムを組み合わせ、支援員と相談しながら本人が決定している。

●作業プログラム

- 施設内作業（封入・封緘、Tシャツたたみ、ちらし折りなどの軽作業を複数の参加者で協働して実施）
- 施設外作業（ポスティング、農業体験プログラム、マンション清掃、飲食体験プログラム）

●スキルアッププログラム

- パソコン講座、生活・健康講座、就活講座（企業見学、自己分析や履歴書の添削、模擬面接等）など

日常的に通える場所の設定

- 通所してもらうことによって、面接だけでは見えない利用者の特性や行動パターンを把握することができる。

6 取り組んで良かったこと

- 利用者に定期的に通所してもらうことで、就労準備支援スタッフと、自立相談支援の担当相談員が変化を共に見つめ、次のステップに進む時期を見定めることができている。